

共催：秋田県教育委員会

令和7年度秋田県発達障害児者及び家族等支援事業

当日オンライン／後日オンデマンド

参加費無料 定員100名

学習や行動面で困難さがあるこどもの理解 共感と実践のシンポジウム

2026年

1月23日(金) 10:45～16:00

(10:30 オンライン入室開始)

対象者

保護者、教育・福祉・医療・行政等
こどもへの支援に従事している方や関心の
ある方はどなたでもご参加いただけます。



第一部 基調講演 (11:00～12:00) ※事前録画を流します。

『こども時代から続く学習障害（ディスレクシア）と
どう向き合ってきたのか？
そこから学んだこと。そして未来への教育の提案』

講師

落語家 柳家 花緑氏

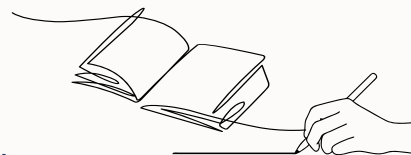
1987年3月 中学卒業後 祖父・五代目柳家小さんに入門。前座名 九太郎。

1989年9月 ニツ目昇進。小緑と改名。

1994年3月 戦後最年少の22歳にて真打昇進。柳家花緑と改名。

2017年に自身が発達障害の一つ“識字障害（ディスレクシア）”であることを公表。

全国の発達障害をテーマとした講演会へも多数登壇している。



申込はこちら▶

締切：1月7日(水)

※ふきのとう秋田HPからも申込可能です。



第二部 実践発表 (13:00～16:00)

『秋田県発達障害専門医療機関初診待機解消事業について』 (30分)

秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田 センター長 荒川 祐介氏

『学習や行動に困難さがあるこどもへのリハビリテーションの関わり』 (60分)

秋田県立医療療育センターリハビリテーション部 副主幹 羽澤 優子氏

『特別な支援を必要とする児童生徒のためのICTを活用した指導・支援の工夫』 (60分)

秋田県総合教育センター 支援チーム指導主事 進藤 拓歩氏